

第1回冬季 茂平ピック



— 2000年オリンピックの年にみんないっしょに踏みだそう！ —

—開催のお知らせ—

私たち、いろんなことにチャレンジしてみた

人に、ものに、触れた・・・聞いた・・・見た・・・

感じ・・・思い・・・考えた。

そして、出会えたよ！「自分らしさに・・・」

テーマは「語りあい・聴きあい・つながろう！！」

- | | |
|----------|---|
| 1. 開催地 | シドニーから日高村へ・・・
日高村保健センター（オリンピックスタジアム） |
| 2. 開催日 | 2000年12月6日（水）
午後1時～3時まで |
| 3. 競技種目 | 1) のびのび生活
2) やめられない・止まらない・自主グループ活動
3) いけいけ社会参加
◎好きな種目に参加します。 |
| 4. 参加選手団 | ヤング・ハートフル茂平メンバー全員出動！！
飛び入り大歓迎！！ |

ごちゃませ参加で、みんなで語りあい、聴きあい、つながっていこう。

「みんなで集いこじゃんとしゃべろうよ！」みなさんの参加待っています。

参加したいと思ったら・・・日高村保健センター（TEL0889-24-7851）
までご連絡ください。

ひだ花（か）いきいきくらぶ「ヤング・ハートフル茂平」

第1回

もへい

茂平ピツク

私たちの願いは：障害を持っていても
自分たちの住んでいる日高村で
「普通に暮らしたい」ただそれだけです。



主催：ひだ^か花いきいきくらぶ「ヤング・ハートフル茂平」

日高村

村民のみなさんへ

2001年

第2回「茂平ピック」の ご案内

日高村のみなさんお元気ですか？ 私たちヤングハートフル茂平のメンバー（精神・知的・若年身体障害者）みんなで集い元気にやっています。今日は第2回「茂平ピック」のご案内をさせていただきます。今年には障害者ではなくて、日高村に暮らす「ひとりの村民」として日高村から、発信をしたい！そして隣近所に声をかけ村民の皆さんと一緒に茂平ピックを創っていきたいと思っています。ぜひ！ぜひ！「茂平ピック」にご参加下さい。お待ちしております。

「ヤング・ハートフル茂平」メンバー一同

第2回 「茂平ピック」

1. テーマ

『自ら声を出して病気や人生を語ろう』

～病気にこだわらんと、いっしょに暮らしていこうや～

2. と き 平成13年12月16日（日）

午前10時～午後2時まで
（受付は9時30分～）

3. と ころ 日高村保健センター

4. 主 催 ひだ花（か）いきいきくらぶ
ヤング・ハートフル茂平

第2回 「茂平ピック」

プログラム

9:30～10:00 受付

10:00～10:30 第1部 開会セレモニー

10:30～11:30 第2部 研究発表
～自分を見つめてメンバーが今の思いを語ります～

— ころのエステティック —

1題 「ころは裸に…シェイプアップ」

2題 「ハリと弾力のころをキープ」

3題 「今から青春！アートメイキング」

11:30～12:15 昼食
各自ご用意ください。
なおお茶を用意させていただきます。

12:15～13:30 第3部 「浦河べてるの家」の仲間と語ろう！

早坂潔さん（共同作業所 浦河べてる代表）

向谷地生良さん

（浦河赤十字病院医療ソーシャルワーカー）

お二人をゲストに迎えてこじゃんと語り合おう！

浦河べてるの家の紹介

北海道浦河町に1982年に教会の会堂を借り受けて誕生。
日高昆布の加工販売を行う共同作業所、介護用品の販売等を行う（有）福祉ショップべてる、8カ所のグループホーム、この3つの活動の場を総称して「べてるの家」と呼んでいるメンバーは総勢100人。

13:30～13:50 質疑応答

13:50～14:00 閉会セレモニー

※なお準備の都合上、参加される方は12月7日までに参加人数を
TEL・FAXで日高村保健センターまでお知らせ下さい。

日高村保健センター TEL 0889-24-7851
FAX 0889-24-7372

茂平^もミック^{へい} 第2回



準備 花^かいきいきくらぶ 「ヤング・ハートフル茂平」

日高村

第3回「茂平ピック」 開催のご案内

ひだ花いきいきくらぶ
ヤング・ハートフル茂平

みなさんお元気ですか？私たち日高村の「ヤング・ハートフル茂平」です。

今日は、第3回「茂平ピック」のご案内をさせていただきます。

今年のテーマは『動き始めた私の時間』

病気になって、止まった私たちの時間が一人ではなくて、仲間と共に日高村で動き出しました。動き出した時間の中には、新しい発見がたくさんありました。今回の茂平ピックは、日高村の住民劇団「日高喜楽座」さんに、ヤング・ハートフル茂平メンバーの人生の時間を、お芝居にしてもらいました。一人でも多くの方々に見てもらいたいと思います。ぜひご参加下さい。お待ちしております。

プログラム

と き	平成15年3月23日(日)
	午前10:00～午後3:10まで
内 容	9:30～10:00 受付(日高村社会福祉センター)
と ころ	10:00～10:20 開会セレモニー
	10:20～11:20 『笑顔の裏側(もうひとりの自分)』 主演 — 日高喜楽座 —
	11:20～13:00 昼食(日高村保健センター) ◎体験コーナーを特設しています。 幻聴や幻視が体験できます。
	13:00～15:00 「100人シンポジウム」 テーマ 『働くということをみんなで考えよう』 座長 ○高知県精神保健福祉センター 所長 山崎 正雄 パネラー ○徳島文理大学 助教授 牧 裕夫 ○高知市障害者福祉センター ソーシャルワーカー 竹村 利通 ○日高喜楽座 ○ヤング・ハートフル茂平
	15:00～15:10 閉会セレモニー

※なお昼食(うどん200円、ちらし寿司100円 たこ焼き300円)を準備しております。
添付してあります申込用紙でご注文下さい。

第4回 「茂平ピック」開催について

◎ 応援隊からのご案内 ◎

「茂平ピック」とは、平成12年12月6日にヤング・ハートフル茂平のメンバーが最初から最後まで主体性を持って、自分たちの活動の集大成として、自分たちの暮らしている日高村から発信することを目的に始まりました。4回目をむかえた平成15年度、ヤング・ハートフル茂平の活動は、赤ちゃんから子育て中のお父さんやお母さん、お年寄り、元気な村民が、年齢や病気や障害に関係なくいられる活動の場へと広がり、そこに住民活動グループ「わのわ会」（名前の由来：人の輪・話の輪・平和の輪が広がるように）が誕生しました。

第4回茂平ピックは、わたしたち村民が

できることを持ち寄って参加し、応援します。

日高村保健センター

- 第5回ひだかっこ
わいわい祭り
(ホール)

- * ミニコンサート
- * 「忍者茂平」劇
- * クイズ

主演：日高村村民
時間：11:00～12:00

ミニコンサート

- たこづくり

～日高の所作り名人と
一緒に扇を作ろう～

時間：13:30～15:00

日高村保健センター

- 第4回茂平ピック
(ホール)

～保育園(所)、日下小
日高中学校の子ども
たちによる出店～

* 7店出店*

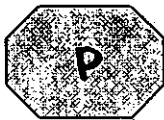
前の土曜日

- たこあげ大会

～日高小学校4年生が手作りの
扇をあげるよ!!～

“たこづくり”に参加された
方も、扇ができ次第、たこ
あげを体験できます。

時間：13:00～15:00

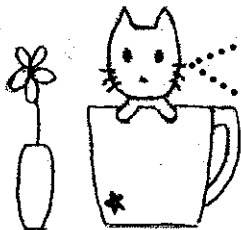


日高村ふれあいセンター

- ふれあいひろば喫茶「わのわ」

昼食・お弁当・ティータイムにご利用
ください。
住民活動グループ「わのわ会」が
運営しています。

営業時間：9:30～15:00



村民手作りのお楽しみコーナーがたくさんあります。
当事者・関係者のみなさんはもちろんのこと
ご家族みんなまでぜひご参加ください。
お待ちしております。

第4回「茂平ピック」開催の ご案内

〈高知県日高村〉

大会テーマ「キーマン・リレー」

— つながれ・ひろがれ・みんなの活動 —

平成10年「ヤング・ハートフル茂平」(身体・知的・精神障害3障害が集う市町村デイケア)の活動が始まりました。同じ悩みを抱えた者同士が集まり、自分たちが無理せず暮らしていくことを考え取り組んできました。6年間の活動のなかで、子育て中のお父さんやお母さん、子どもたち、お年寄り、そして元気な村民のみなさんとの出会い・交流が生まれてきました。その出会いのなかで、「人に助けられる」体験とまた同時に「人を助ける」体験を経験しました。そして平成15年「ヤング・ハートフル茂平」の活動は、住民活動グループ「わのわ会」へとつながっていきました。第4回「茂平ピック」は、つながっていった活動の中でつぎつぎと・・・渡されるバトンを受け取った人(キーマン)を紹介し、「日高村で暮らすのもぞんがいえいねえー」という思いについて、プレゼンテーションしていただきます。そして、自分らしく地域で暮らすということをみなさんといっしょに考えたいと思います。

みなさんのご参加をお待ちしています。

— 記 —

1. と き 平成16年3月27日(土) 午前10時～午後2時30分

2. ところ 日高村保健センター

3. 内容 ●「キーマン・リレー」— つながれ・ひろがれ・みんなの活動 —

Am10:00～12:00 第1走者 高知大学医学部 精神神経学教室 下寺 信次先生
第2走者 「ヤング・ハートフル茂平」メンバー 田村 靖子さん
第3走者 ライフ・ファクトリー茂平 所長 安岡 佐代さん
第4走者 日下小学校6年生 橋本佳奈さん 片田有咲さん
池 有加里さん 近藤江里華さん
濱田祥子さん
第5走者 「ヤング・ハートフル茂平」新メンバー 松澤 真理さん
知的障害者更生施設「湖水園」指導員 宮崎 和久さん
住民活動グループ「わのわ会」 矢野 靖さん

Pm1:00～2:30 ●講演会「これから日高村でいっしょに暮らしていこうや！」

— 知的障害者の理解と支援 —

東京都自立センターグッドライフ介助コーディネーター
中村 修子さん

◎ 昼食はふれ愛ひろば喫茶「わのわ」が用意しています。

◎ 添付してありますメニュー表をご覧ください。

なお昼食のお申し込みは3月19日(金)までに添付の申込用紙でご注文下さい。

お申し込み先 日高村障害者地域生活支援センター・ふれ愛センター

TEL0889-24-5001

FAX0889-24-4411

「心の健康問題の正しい理解のための普及啓発検討会」関連企画

写真絵本

「ひとりひとりの人——僕が撮った精神科病棟」

【撮影・著者】大西暢夫

1968年生まれ。

『僕の村の宝物』情報センター出版局

『分校の子供たち』カタログハウス

『山里にダムがくる』山と溪谷社

『おばあちゃんは木になった』ポプラ社 第8回日本絵本賞受賞

【読者対象】小学生高学年以上

【趣旨】著者（カメラマン）は、雑誌（「精神科看護」〈日精看監修・精神看護出版発行〉）取材のためにはじめて精神科病院を訪れた。取材を重ねるうちに、それまで抱いていた精神科病院とその中に「閉じ込められている精神障害者」というイメージが覆され、ときには「えっ！ この人が精神病なの？」と驚き、それぞれに暮らしている「ふつう」の人の優しさと、カメラの前に立つ彼らの生き生きとしてひたむきな、そしてときにはユーモラスな表情に惹きつけられていった。実際、カメラの前に立つ彼らの姿、表情は、生活者として誇らしげであり、尊厳に満ちているのだった。

一般に障害者への理解が深まってきたとはいえ、なお精神科病院や精神の患者さんは「何をしでかすかわからない恐ろしい人たち」というイメージが社会の中ではぬぐいきれない。本書は、「精神障害者への偏見・差別をなくしましょう」というスローガンを掲げ、精神科病院の悲惨さを告発するものではない。カメラに写し取られた精神科病棟に入院し生活している患者さんたちの姿とカメラマンの率直な言葉を通して、小学生の段階から精神を病む人たちの“人としての存在”を感じとることができる写真絵本である。

【写真絵本】子ども向けに写真と文章で構成した本。

【判型・頁数】220×220 4色・48ページ

【定価】1700円（予定）

【発行所】精神看護出版発行

【04年4月発行予定】

ひとりひとりの

大西暢夫

僕が撮った精神科病棟

の

ひとりひとりの人

僕が撮った精神科病棟

